

DVD を見て、次の問いに答えてみよう。

1 DVD を見て、以下の問いに答えてみましょう。

①私たちの日々の生活の中で、家族、企業、行政ではカバーしきれない部分を支える活動として、どのようなものがあるか挙げてみましょう。

地域コミュニティ／ボランティア活動／NPO 活動

②共生社会の目標は何か考えてみましょう。

年齢や性別、国籍、民族、宗教などの違いにかかわらず、誰もが安心して充実した生活を作り上げていくこと。

③身の回りにあるユニバーサルデザインの例を挙げてみましょう。

センサー式の蛇口、自動ドア、タッチ式のスイッチなど、自由記述。

2 次の文は、ノーマライゼーションについて書かれたものです。文章中の（ ）を埋めましょう。

ノーマライゼーションとは、(障がい)がある人もない人も区別なく、同じように「ノーマル」「普通」「あたりまえ」であるという理念です。ノーマライゼーションを具体的に推進するものに、バリアフリーと(ユニバーサルデザイン)があります。

3 下の表は、バリアフリーとユニバーサルデザインを比較した表です。表のA、Bはどちらを表しているか考えてみましょう。また、語群から適切な語を選び、表の（ ）を埋めましょう。

A(ユニバーサルデザイン)

B(バリアフリー)

	対象者	考え方
A	すべての人	(年齢)や性別、能力などに関係なく、全ての人にとって使いやすい製品や仕組みのこと。使いやすさを追求するため、主に民間が主導して普及している。軽く押すことのできる大きなスイッチなどがその例である。
B	生活をする上で不便を感じている高齢者や(障がい者)など	対象者が生活する上で、(障壁(バリア))となるものを取り除くということ。行政などが中心となって、施設や都市の設計時に計画・規制することによって普及している。段差を無くしたり、手すりを取り付けたりする。

4 以下の文は、共生社会について述べたものです。正しいものには○を、誤りのあるものには×をつけましょう。

(×) 「子ども・子育てビジョン」では、今までの「社会全体で子育てを支えるしくみ」から、「家族や親が子育てを担う社会」への転換が図られた。

(○) 高齢化が進む日本では、ひとり暮らしや、高齢者のみの世帯が増えている。

(×) 子どもには子どもにとって使いやすい物、障がい者には障がい者にとって使いやすい物とそれぞれのニーズに合わせてデザインを変えていくことをユニバーサルデザインとよぶ。

(○) NPO とは非営利団体のことであり、収益を社会貢献活動にあてる。

(×) 現在の日本では高齢化が進み、人口のおよそ1割が高齢者である。

5 DVD を見て、以下の問いに答えてみましょう。

①ソーシャルビジネスとはどのようなビジネスでしょうか。

利益の追求をしながら、同時に社会問題の解決を図ろうとする、企業の活動のこと。

②ソーシャルビジネスとボランティアの違いについて考え、ソーシャルビジネスがなぜ必要とされているのかを考えてみましょう。

ボランティア活動などの利益を求めない活動は、一時的なものが多く長く続いていかない。ソーシャルビジネスはビジネスであり、社会的課題を解決しながら利益を得るので、持続的に続けることができる。

6 あなたが住んでいる地域には、どのようなボランティア活動やNPO活動があるか調べて、書き出してみましょう。

自由記述

7 共生社会を実現するために、自分にできることは何でしょう。具体的に書き出してみましょう。

自由記述